

# 福山中心市街地の街づくり

## 久松通り整備図



昭和32年頃の久松通り。  
この写真集はアーカイブが完了した。

### ■久松通り商店街の紹介

福山久松通商店街振興組合は、古くは大正12年3月に毎月「1」と「16」のつく日に夜店を出すことを決めている。

同時に、「久松城(福山城)」と通りに面する活動写真館「久松城」の名称にちなんで「久松通り」と名付けられ、対外的には「久松通一六会」として認められたことが始まりである。

戦前の久松通一六夜店は年を追うごとに益々盛んとなり、店の前に覆台を出し、明かりはアセチレンガスを

使用して緑色の風情で福山市民の夜の憩いの場となっていた。しかし、昭和16年太平洋戦争が始まると共に戦時経済統制がきびきびとなり、また商品も少なく、夜店も自然と中止せざるを得ない状態となった。昭和24年、夜店は一部の有志の意思という形で果たたものを組織化するとなり、ここに久松通一六会がスタートした。その後、久松通商栄会を経て現在に至っている。

### ■整備による街並の変化



整備前



整備後

### ■基本配置図



### ■ポケットパーク整備



北側ポケットパーク



新副都

#### ●オアシス機能

歩行者がちょっとくつろげるようにベンチや植栽による木陰、つる性植物がからみあがられるように周面にラティスを配置しました。また、副都社はモニュメント的意匠をもつようデザイン性の高いものを6本設置しました。

#### ●コミュニティ機能

市民が色々なイベント広場として活用することにより、地域コミュニティ形成や賑わいの創出が期待されます。

#### ●野外形割

南ポケットパークには「ふくやまアートプロジェクト」による彫刻が設置され、市民に愛されています。

題「カスミ」[Eros.No.21]  
作者：黒川弘毅

#### ●路上機器の集中化

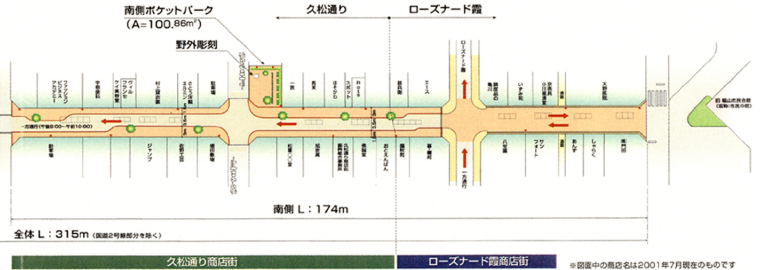
電線積地化に伴う路上機器は全てポケットパークに設置し、道路上の「リアフリー」を実施しました。



南側ポケットパーク



野外形割

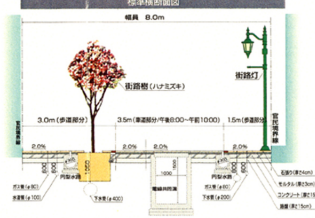


※図面の中心点は2001年7月現在のものです

### ■商店街ファサード整備



### ■道路整備



道路緑化



植栽・アップライト



街路灯

#### ●路上リアフリー

歩車道区分を色分けで行い、フラットにしました。店舗と歩道間に生じる段差は今後の店舗改造時に処理することとし、歩行者のためのリアフリーを実現しました。

#### ●景観形成

影心部のオープンモールとしてフラットするように基本フラッグサインの街路灯を設置し、植栽のアップライトは街路灯とともに夜の街路景観を演出します。